

ふくとみタイムズ

賀茂北高生が店を応援

お金や終活考える講座
竹仁センターで3月9日

老後の生活資金や終活について考える講座「人生100年時代の“暮らしとお金”」が3月9日午前10時から、竹仁地域センターである。

講師は、広島市中区のファイナンシャルプランナー高橋佳良子さん。超高齢社会を迎える中、年金、住まい、介護など各自の事情を踏まえた「幸せになるためのお金との向き合い方」「元気なうちにしておくべき準備」について話す。

高橋さんは、中区のコンサルタント会社「ライフアンドマネークリニック」社長。暮らしとお金をテーマにした講演やセミナーで全国を駆け回る。著書に「あとあとモメない『終活』はどっち？」(すばる舎)。

講座は、竹仁地域センターのサロン「竹仁のえんがわ」の一環。竹仁地区以外の住民も参加できる。無料。問い合わせは同センター☎082(435)2301。



高橋佳良子さん



「くろぼや」店頭の顔出しパネルで記念撮影をする女性

久芳の「くろぼや」に登場
名物顔出しパネル

インパクトと温かみ
「地域に感謝」と店主

東広島市福富町久芳の食事処「くろぼや」に2月、ユニークな顔出しパネルがお目見えした。店の名物「へそ井」と、周辺に生息する国特別天然記念物オオサンショウウオがモチーフ。新型コロナウイルスの影響に直面する同店を応援しようと、賀茂北高(豊栄町)美術部の生徒が作った。パネルは縦170センチ、横150センチ。2匹のオオサンショウウオが井の中でポーズを決め、「いいね!」と呼びかけている。2か所の穴から顔を出せる。

同僚たちと来店した就労支援員の伊達文恵さん(45)は「広島市には「インパクト」があるデザイン。メニューのへそ井に興味をわきました」と笑顔。一緒に記念撮影をしていた同僚の渡辺香織さん(41)は「東広島市は「生徒さんが一生懸命に手作りの温かみを感じます」と話していた。パネルは店主の森岡明美さん(61)が、母校でもある近くの賀茂北高に制作を依頼。木工品店「きこりや」(福富町)が資材を提供し、同校美術部員たちがデザインから手がけた。

森岡さんは「お客さんが記念撮影をしたり、店内で話題にしたりしてくれて、にぎやかです。生徒や地域のみなさんの気持ちを励みにがんばって営業したい」と喜んでいました。

くろぼやは3月2日に開店3周年を迎える。2月28日から来店客に記念品を贈る(なくなり次第終了)。

アラフォー職員

きょーれんの最近の主な活動



◎福富中学校学校運営協議会(1月27日)
福富中学校の学校運営協議会の会合がありました。4月から小中一貫教育に移行することを見据え、地域との関わり方などについて地元の有識者や関



農園のこれまで②

2020年5月17日 トウモロコシ収穫イベント
2020年7月5日 トウモロコシ収穫会(原田農園と共催)
2020年9月21日 昔ながらの稲刈り体験会
2020年11月1日 いも餅りも焼きいもフェス

◎圏域まちづくり大学で活動を発表(1月27日)
東広島市や呉市など4市4町が連携して地域づくりに取り組む「圏域まちづくり大学」のオンライン報告会があり、福富町でのmikkeの活動について発表しました。江田島市でのオリーブを活用したまちおこし、大崎上島町での県立高校魅力化など、近隣地域での取り組みの発表も興味深かったです。

mikkeの活動発表や学校関連行事



コロナ対策で店内の消毒をする森岡さん



◎竹仁小学校閉校記念ソングの合同練習(2月2日)
3月29日にある竹仁小学校閉校記念行事で、全校児童が記念ソング「学校坂にそよぐ風」を合唱します。その地元有志バッキングバンドに加わることになり、同小体育館で児童と初めての合同練習に臨みました。子どもたちの歌の仕上がりが、すごい!



係者たちと話し合っています。

